

申し込みはこちら↓



直江津屋台会館等を活用した新たな観光産業創出社会実験

直江津の 観光地域づくりを考える ワークショップ

テーマ「直江津を観光で稼げる地域にする」

- ☑グループごとに話し合い、発表していただきます。
- ☑この会を通じて、観光のまちづくり会社が立ち上がることを目指しています。
裏面で上越市の考えをご確認ください。



開催日 2025年3月15日(土)

場所

無印良品 直江津
Open MUJI

時間 18:00~19:50

定員

20人程度

※3月10日(月)までに上記二次元コードから申し込みをお願いします。

※申し込みが20人を超えた場合は、15:00~16:50の時間帯で同様に開催します。

問合せ先

なおえつ屋台パーク事務局(株式会社タカヨシ)
TEL.025-282-7035 受付時間/平日9:00~17:00

主催:上越市魅力創造課

古くは 奈良時代、国府がおかれ、越後の政治の中心として栄えた直江津「水門（みなと）」と呼ばれ、港のまちとしてすでにその名を知られており、室町時代には「直江の津」として、謡曲にも登場し、問丸（問屋）が存在するほどの繁栄を見せていました。江戸時代からは北前船の寄港地として、明治時代からは新潟県最初の鉄道駅として、物流を中心に発展してきました。

上越市では、この大切な歴史・文化を次の世代に伝承していくため、歴史文化等の資源を活用した観光地域づくりに取り組み、誰もが豊かに住み続けられる持続可能なまちを目指しています。

観光地域づくりとは、観光に取り組むことによって人口減少の中にあっても地域の課題を解決し、持続可能なまちをつかっていくことです。例えばマリンスポーツを体験できる新たな観光サービスができることで、若者や女性の雇用が生まれたり、来訪者が楽しんでいる姿を見てよいまちだと気づき、この地に住み続ける人が増えたりと、若者や女性の定着につながります。

その主役は 行政ではなく地域の方々です。他にはない直江津だけの魅力は何か、それをどう組み合わせたら稼げるのか、ひらめき、つなぎ合わせることができるのは地域の方々です。そしてそれを実行するためには、地域を一体的にマネジメントできる運営組織（以下、「まちづくり会社」という）が必要だと考えます。

直江津屋台会館・海浜公園は、年間30万人以上の来場がある「うみがたり」と海水浴で賑わう日本海に隣接していることから、一つの観光拠点になり得ると考えています。将来的には、観光地域づくりに取り組むまちづくり会社に、直江津屋台会館を拠点にイベントや観光コンテンツの提供、情報発信等を行いながら自立した管理運営を担っていただくことが理想だと考えています。

ここで言うまちづくり会社は、行政からの支援ありきではなく、自ら収益を得て自立する組織であることを理想としています。自由な発想で、すぐに実行でき、何よりやりたい人がやりたいことをできるかどうか、自走していけるかどうかのポイントであることから、まちづくり会社の立ち上げについても、民間主体であることが重要だと考えています。

今回のワークショップを通じて、人と人がつながり、まちづくり会社が誕生することを願っています。観光地域づくりを担ってもらえるまちづくり会社があれば、直江津屋台会館・海浜公園の管理運営の受託と収益事業の優先的な実施をお願いしたいと考えています。ワークショップ開催後も、勉強会等を随時開催していく予定です。